

平成20年9月16日
航空自衛隊千歳基地

(お知らせ)

F-15の飛行訓練等の実施について

航空自衛隊は、9月11日(木)山口県見島沖でF-15の操縦者が緊急脱出した事故にかんがみ、F-15の飛行は対領空侵犯措置関連を除き見合わせておりました。

航空幕僚監部によると、本事故は、訓練飛行中、両エンジンに機動等によるエンジン内の空気の乱れ、電気系統又は燃料系統の不具合が発生し、飛行に必要な推力が得られない状況に至った可能性があるとの情報がありました。

そのため、千歳基地は、中央の指示に基づき、本事故に至った状況から推定し得る安全確保に必要な特別点検を実施したところ、9月16日(火)現在で千歳基地保有機数の55%の点検が終了し、残りの機体も順次実施しております。

また、パイロットを含む隊員に対する必要な安全教育も、9月12日(金)に終了しました。

つきましては、安全確保のための特別点検を実施し異状のないことが確認できた航空機を使用して、17日(水)からF-15の飛行訓練等を実施していきます。

以上